



奈良・纏向遺跡
 邪馬台国の有力候補地とされる奈良県桜井市の纏向遺跡で出土したモモの種を放射性炭素年代測定したところ、西暦135〜230年と判明したことが14日分かった。女王卑弥呼(248年ごろ没)の年代と重なり、邪馬台国畿内説を補強

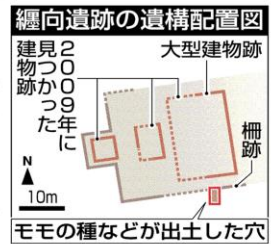
「邪馬台国」畿内説強まる 出土の種、卑弥呼と同年代



纏向遺跡で出土したモモの種
 2010年9月、奈良県桜井市

する成果となりそうだ。成果は同市纏向学研究会の調査報告書に掲載された。市教委は2010年に遺跡の中核とみられる大型建物跡(3世紀前半)の南側にあつた穴から約2800個のモモの種などを発掘した。このうちランダムに選んだ15個を中村俊夫名古屋大名誉教授が測定。測定できなかった3個を除き、135〜230年のものと分かった。元徳島県埋蔵文化財センターの近藤玲氏を通じて山形大が行った測定でも同様な結果が出た。寺沢薫・同研究センター所長は「纏向遺跡は4世紀

とする説が一部であるが、複数機関による高精度の分析で3世紀である可能性が高まった。魏志倭人伝に書かれた卑弥呼の時代と一致しており、これまでの調査成果と合わせて、纏向遺跡が邪馬台国であるといわれわれの主張に沿う」と評価している。



(佐賀新聞 2018.5.15 付)

◎記事から読み取ろう

○何がわかったのですか。
 (5W1Hの形式でまとめよう。)

○今回わかったことは、どのような意味をもつとされていますか。

◎広げよう・深めよう

○次のことばについてまとめよう。

邪馬台国		卑弥呼	
畿内説		九州説	
邪馬台国や卑弥呼について書かれた中国の書物名			

◎自分の考えをまとめよう

*友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○この記事を読んでどう思いましたか。